

妻ヶ丘中学校だより

令和 8 年 1 月 2 0 日（火） 校長 飯干 裕二

第3学期が始まりました

1月7日（水）に3学期始業式を行いました。当初の予定では、体育館での実施でしたが、インフルエンザの流行、また、高校入試のことも勘案し、急遽、リモートでの実施に変更いたしました。

さて、始業式では4名の生徒さんから、3学期の抱負を発表していただきました。4名とも素晴らしい内容の発表でした。一言一言に重みがあり、3学期に臨む強い決意を感じました。本当にお疲れ様でした。

また、私も校長として何点かお話をさせていただいたのですが、特に強調したい内容を抜粋して、以下のとおりお伝えいたします。

3学期は「1年間のまとめ」と「次年度への準備」を同時進行で行わなければならない、大変忙しい学期となります。「1年間のまとめ」については、意味が分かると思いますので、「次年度への準備」について、少し掘り下げてお話をさせていただきます。

まず、次年度とは今年の4月のことになります。1年生は2年生となり、後輩ができ、先輩となります。2年生は最上級生の3年生となり、学校の「顔」となります。そして、3年生は卒業をし、各自が新しい進路先で新生活を迎えることとなります。（その前に大切な高校入試が始まりますね）。

次に、大切な準備についてです。準備も様々ですが、「計画を立てること」がとても重要です。物事を成功させるためには、7割がこの計画を立てること（見通しをもつこと）だと言われています。是非、実践してみてください。

このような意味から、3学期は1、2学期より大変忙しい時期となり、中々、立ち止まって振り返る程の余裕がないかもしれません。しかし、立ち止まることができなくても、速度を落とし、ゆっくりと歩きながら、目の前のことを確実にクリアして欲しいと思います。

最後にいつものお願いです。今学期も学校教育ビジョンである、「自立 感謝 貢献」をセットにした取組を行ってください。そして、自己肯定感を高めること（全ての自分を受け入れる。命を大切にする。）も併せてお願いいたします。

いよいよ3学期が始まります。忙しい学期になりますが、私の思いは、皆さんが安全で、そして健康でいることが一番です。

以上で校長の話とさせていただきます。

高校入試が始まっています

すでに県外の私立高校入試及び都城・久留米工業高等専門学校の推薦入試等は始まっています。そこで、去る12月19日（金）に、まちづくり協議会及び学校運営協議会の方々に、高校入試における面接練習を行っていただきました。ご多忙の中、ご指導いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



さて、1月28日（水）、29日（木）から県内私立高校入試が始まり、大半の生徒が受験いたします。インフルエンザが心配されますが、受験生の皆さんは、自分の力を信じ、ご支援いただいた方々に感謝し、妻中生としての誇りをもって臨んでください。

赤い羽根共同募金のご協力ありがとうございました

今年度も生徒会執行部が主体となり、去る12月4日（木）～12日（金）の期間に赤い羽根共同募金活動を行いました。さて、この「赤い羽根共同募金」は、戦



後間もない昭和22年（1947）年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、社会福祉法に基づき、地域福祉の推進のために活用されています。社会の変化の中、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「自分の町を良くするしくみ」としての募金です。

今年度の本校の募金総額は13,635円となりました。募金活動に尽力いただいた生徒会執行部の皆さん、募金に協力いただいた生徒及び保護者の皆様に感謝申し上げます。

今年もよろしくお願いいたします

2026年がスタートいたしました。昨年は本校の教育活動に際し、ご支援とご鞭撻をいただき、ありがとうございました。今年も本校職員一同が一丸となり、生徒としっかりと向き合いながら教育活動に邁進していく所存です。

何卒、地域及び保護者の皆様におかれましても、昨年と同様に、本校へのご理解とご協力をいただければ有り難いです。

そして、皆様にとって幸多き一年になることをご祈念申し上げます。